

## 大曲小学校へ手縫いの雑巾を寄贈!

晴ヶ丘老人ホーム

晴

ケ丘老人ホームと長年交流のある大曲小学校が今年度で閉校になることをきっかけに「私たちに何かできることはないか」と数名のお客様から声があがりました。そこで、地域貢献活動を目的とした「木いちごサロン」の取り組みとして5月から雑巾作りを始めました。タオルを集めるにあたり、なかなかタオルが集まらず、地域住民の皆様や六戸町行政関係者様に呼びかけたところ、250枚のタオルを寄付していただきました。裁縫の得意な方々が毎日少しずつ手縫いで仕上げ、2ヶ月で120枚もの雑巾を完成させることができました。7月19日には大曲小学校のご厚意で贈呈式という場を準備していただき、緊張されながらも全校生徒の前で「お掃除に役立てて下さい」と渡し、子供たちからは「大事に使います」と感謝の言葉をいただきました。この活動を通じて地域貢献活動を目的としている「木いちごサロン」の活動が大きくなり、な実りとなっていることを実感しました。今後も、施設さらには社会のために活動の幅を広げ活躍していきたいと思えます。

晴ヶ丘老人ホーム主任支援員 ● 浪岡直美

### ご利用者様のコメント

雑巾作りで気を付けたポイントは、縫い目の幅が広いと引っ掛かりほどけやすくなるため、細かく縫うように気を付けました。若い頃から今まで裁縫を得意としてきたけど、使う子供たちを思い浮かべ、こんなに気遣いや気持ちを入れて裁縫をしたのは初めてでした。「この雑巾がボロボロになるまで掃除をしてほしい」という想いを込めて縫いました。



養護老人ホーム措置費引き上げを実現！



新六戸町・佐藤陽大町長 あきひろ

## 養護老人ホームとは

65歳以上で身体・精神に障害がある方、また環境上の理由、経済的な理由から居宅での生活が困難という方が入居する行政決定による措置施設です。

……晴ヶ丘老人ホーム概要……

【創設】

昭和43年4月（当会最初の施設）

【事業展開】

介護保険法（介護予防）特定施設入居者生活介護  
契約入所（空床の活用）

【定員】

70名

【受入れ可能人数】

5名前後（令和6年10月1日現在）

晴ヶ丘老人ホームでは、施設見学を随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。  
また、入居希望者は各市町村の福祉課までお問い合わせください。

〒033-0071

青森県上北郡六戸町犬落瀬字堀切沢59番地54

TEL0176-53-2481 ● FAX0176-53-9287

harugaoka@rakuseikai.or.jp

【担当者】 笹倉・冨田



晴ヶ丘老人ホームは、3月13日、当施設が所在する自治体である青森県八戸町に対し、要望書を提出しました。要望書では、養護老人ホームが地域福祉にとって重要な資源として役割を担っていることや、長年の課題である施設運営に関する現状の説明とともに、「養護老人ホームに勤務する職員の更なる処遇改善および老人保護費に係る支弁額等の引き上げ」を要望しました。

令和6年1月に厚生労働省から各自治体に対し、運営費の改善について令和6年度の介護報酬改定を踏まえた対応要請、および全国老協からも要望書が送付されました。

このように、国や福祉団体も表1に掲げる課題対策のための動きがあることを受け、当会自らも「行政機関との意見交換を通じて信頼関係をさらに強化するとともに、適切な運営に関する改定をお願いする必要がある」と動きました。

そのような状況下において、晴ヶ丘老人ホームが長年にわたり事業を行っている青森県八戸町は今年1月、28年間町政を率いていた町長引退に伴う町長選で、新リーダーとなる佐藤陽大町長へと引き継がれ、財源と権限をもつトップの交代は当施設にとって大変重要な機会となりました。

そこで福祉課長および措置担当者を通じ齊藤理事長・齊藤常務とともに、佐藤町長を訪問し、地方財政による支援が不可欠であることをお願いし要望書を手渡ししました(表2)。

「令和6年度老人保護措置費支弁額決定通知」は、要望項目すべてに対しプラス改定の対応をいただきました(表3)。

晴ヶ丘老人ホームは、今年開設56年目を迎えますが、地域における役割をしっかりと見据え、養護老人ホームとしての使命と機能を果たすべく、さらなる課題に日々取り組んでまいります。

晴ヶ丘老人ホーム施設長 ● 吉田幸恵

### 表1..... 養護老人ホームの課題

平成12年の介護保険法施行により市区町村長の判断で実施する「措置」から個人と施設との「契約」という大きな変化があり、さらには平成18年の三位一体改革により施設の運営費が地方交付税に組み込まれ自治体が歳出することになってから、運営に苦む養護老人ホームは年々増加し、令和5年度時点で921ある施設の半数超が赤字、ここ5年間で20施設超が閉鎖に追い込まれているという深刻な課題がある。

#### 背景

- 1) 施設運営費を抑えるため自治体が入所者が「措置控え」をすることにより入所率が下がっていること
- 2) 施設運営費の基準単価は、厚労省指針(2006年)を基に各自治体が定めることとなっているが、これまでの18年間に消費税増税、最低賃金や物価の上昇などがあるにもかかわらず改定がされていない自治体があること
- 3) 施設運営費が自治体の全額負担という誤認識があること
- 4) 国の補助金(介護職員処遇改善支援事業等)による介護職員らの賃上げの対象外であること

### 表2..... 要望書より抜粋

介護職員処遇改善支援事業等(月額平均6,000円相当)と同様の処遇改善の実現

令和6年度介護報酬改定を踏まえた老人保護措置費に係る支弁額の引上げ

基準費用額(居住費)1日あたり60円引上げに伴う生活費の引上げ

養護老人ホームへの入所を必要とする者の把握と措置制度の適切な活用

### 表3..... 要望項目に対する決定通知(令和6年6月25日)より

1	介護職員処遇改善支援事業等(月額平均6,000円相当)と同様の処遇改善の実現	一般事務費1,333円増の処遇改善(令和6年4~7月)
		一般事務費人件費は令和4年に続き令和6年は2,000円処遇改善
2	令和6年度介護報酬改定を踏まえた老人保護措置費に係る支弁額の引上げ	報酬改定分(その他分)0.61%を加算(令和6年4月~令和7年3月)
		報酬改定分(処遇改善分)1.16%を加算(令和6年6月~令和7年3月)
3	基準費用額(居住費)1日あたり60円引上げに伴う生活費の引上げ	令和6年8月実施分より1,824円引上げ
4	他、民間施設給与等改善費管理費特別加算を適用し1%を加算	

# 社会福祉士 実習受入委員会

初開催

表1.....  
ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に  
求められる役割等について（概要）

社会福祉士は、高齢者支援、障害児者支援、子ども・子育て支援、生活困窮者支援等の幅広い分野で活用されている。また、社会保障分野のみならず、教育や司法などの分野においてもその活用が期待されている。

少子高齢化の進展など、社会経済状況の変化によるニーズの多様化・複雑化に伴い、既存の制度では対応が難しい様々な課題が顕在化してきている。また、子ども・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を目指しており、社会福祉士には、ソーシャルワークの機能を発揮し、制度横断的な課題への対応や必要な社会資源の開発といった役割を担うことができる実践能力を身につけることが求められている。

地域共生社会の実現に向けた各地の取組には、社会福祉士が中心となり、地域住民等と協働して地域のニーズを把握し、多職種・多機関との連携を図りながら問題解決に取り組んでいる事例などがある。地域の様々な主体と連携した取組が必要となる中で、社会福祉士には、地域住民の活動支援や関係者との連絡調整などの役割を果たすことが求められている。

平成30年3月27日  
社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会

いわゆる「相談支援」と言われる専門分野の「ソーシャルワーク」について、この度の法改正で正式に「ソーシャルワーク」と明記されました。そしてその国家資格である社会福祉士のカリキュラムも新カリキュラム（以後「新カリリ」）に変更されました。それに伴い社会福祉士の卵の実習も、すっかり変更されました。

「社会福祉士に求められる役割」（表1）は、時代の変化で見直しが必要となった背景であり、その結果、「養成課程の教育内容等見直し」（表2）という新カリリになりました。

「実習のねらい」（表3）は、個別のミクロの領域から、機関（メゾ）の役割・限界や地域ニーズ（マクロ）なども捉ええるホリスティック（全体的）な関わりであって、ジェネリックなソーシャルワークといえるでしょう。この変化に際して、当会の実習体制、法人の実習プログラムも大幅に変更しました。

一つは「実習生受入れに関する要綱」（表4）の作成です。高齢者や障害児者の個別

表2..... 社会福祉士養成過程の教育内容等の見直し（主な事項）

1 養成カリキュラムの内容の充実																													
<p>○ 地域共生社会に関する科目の創設【地域福祉と包括的支援体制(60時間)】</p> <p>⇒ 地域共生社会の実現に向けて求められる社会福祉士が担うべき役割を理解し、多機関の協働による包括的な相談支援体制の仕組み等の知識を習得するための科目として「地域福祉と包括的支援体制」を創設する。</p> <p>※現在の「地域福祉の理論と方法」と「福祉行政と福祉計画」を基礎として教育内容を見直し。</p>																													
<p>○ ソーシャルワーク機能を学ぶ科目の再構築</p> <p>⇒ ソーシャルワーク機能の実践能力を有する社会福祉士を養成するため、「講義－演習－実習」の学習循環を作るとともに、ソーシャルワークの専門職である社会福祉士と精神保健福祉士の養成課程において共通して学ぶべき内容（共通科目）と、社会福祉士として専門的に学ぶべき内容が明確になるよう、科目を再構築する。</p> <p>実習演習科目のうち、共通科目となる「ソーシャルワーク演習」については、精神保健福祉士養成課程との合同授業を可能とする。</p> <p>※講義の科目については、既に合同授業は認められている。</p>																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現行の科目</th> <th>時間数</th> <th></th> <th>見直し後の科目</th> <th>時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑥相談援助の基盤と専門職</td> <td>60</td> <td>→</td> <td>⑥ソーシャルワークの基盤と専門職 ⑦ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)</td> <td>30 30</td> </tr> <tr> <td>⑦相談援助の理論と方法</td> <td>120</td> <td>→</td> <td>⑧ソーシャルワークの理論と方法 ⑨ソーシャルワークの理論と方法(専門)</td> <td>60 60</td> </tr> <tr> <td>⑩相談援助演習</td> <td>150</td> <td>→</td> <td>⑩ソーシャルワーク演習 ⑪ソーシャルワーク演習(専門)</td> <td>30 120</td> </tr> <tr> <td>⑫相談援助実習</td> <td>180</td> <td>→</td> <td>⑬ソーシャルワーク実習</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table>	現行の科目	時間数		見直し後の科目	時間数	⑥相談援助の基盤と専門職	60	→	⑥ソーシャルワークの基盤と専門職 ⑦ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	30 30	⑦相談援助の理論と方法	120	→	⑧ソーシャルワークの理論と方法 ⑨ソーシャルワークの理論と方法(専門)	60 60	⑩相談援助演習	150	→	⑩ソーシャルワーク演習 ⑪ソーシャルワーク演習(専門)	30 120	⑫相談援助実習	180	→	⑬ソーシャルワーク実習	240	<p>※共通科目 ⑥ソーシャルワークの基盤と専門職 ⑧ソーシャルワークの理論と方法 ⑩ソーシャルワーク演習</p>			
現行の科目	時間数		見直し後の科目	時間数																									
⑥相談援助の基盤と専門職	60	→	⑥ソーシャルワークの基盤と専門職 ⑦ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	30 30																									
⑦相談援助の理論と方法	120	→	⑧ソーシャルワークの理論と方法 ⑨ソーシャルワークの理論と方法(専門)	60 60																									
⑩相談援助演習	150	→	⑩ソーシャルワーク演習 ⑪ソーシャルワーク演習(専門)	30 120																									
⑫相談援助実習	180	→	⑬ソーシャルワーク実習	240																									
<p>2 実習及び演習の充実</p>																													
<p>○ ソーシャルワーク機能を学ぶ科目の再構築【ソーシャルワーク演習(30時間)】【ソーシャルワーク演習(専門)(120時間)】(再掲)</p> <p>⇒ ソーシャルワーク機能の実践能力を有する社会福祉士を養成するため、講義で学習した知識や技術を統合し具体的な事例を用いて実践的に、基礎的なソーシャルワーク機能を習得する演習科目において、ソーシャルワークの専門職である社会福祉士と精神保健福祉士の養成課程において共通して学ぶべき内容（共通科目）と、社会福祉士として専門的に学ぶべき内容が明確になるよう、科目を再構築する。</p> <p>実習演習科目のうち、共通科目となる「ソーシャルワーク演習」については、精神保健福祉士養成課程との合同授業を可能とする。</p>																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現行の科目</th> <th>時間数</th> <th></th> <th>見直し後の科目</th> <th>時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑩相談援助演習</td> <td>150</td> <td>→</td> <td>⑩ソーシャルワーク演習 ⑪ソーシャルワーク演習(専門)</td> <td>30 120</td> </tr> </tbody> </table>	現行の科目	時間数		見直し後の科目	時間数	⑩相談援助演習	150	→	⑩ソーシャルワーク演習 ⑪ソーシャルワーク演習(専門)	30 120	<p>※共通科目 ⑩ソーシャルワーク演習</p>																		
現行の科目	時間数		見直し後の科目	時間数																									
⑩相談援助演習	150	→	⑩ソーシャルワーク演習 ⑪ソーシャルワーク演習(専門)	30 120																									
<p>○ ソーシャルワーク機能の実践能力を養う実習時間数の拡充【ソーシャルワーク実習(240時間)】(再掲)</p> <p>⇒ ソーシャルワーク機能の実践能力を有する社会福祉士を養成するため、施設や事業所等の現場において実践能力を養う実習科目において、地域における多様な福祉ニーズや多職種・多機関協働、社会資源の開発等の実態を学ぶことができるよう、実習の時間数を拡充し、2以上の実習施設で実習を行うこととする。</p>																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現行の科目</th> <th>時間数</th> <th></th> <th>見直し後の科目</th> <th>時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑫相談援助実習</td> <td>180</td> <td>→</td> <td>⑬ソーシャルワーク実習</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table>	現行の科目	時間数		見直し後の科目	時間数	⑫相談援助実習	180	→	⑬ソーシャルワーク実習	240																			
現行の科目	時間数		見直し後の科目	時間数																									
⑫相談援助実習	180	→	⑬ソーシャルワーク実習	240																									
<p>○ 実習時間の免除の実施</p> <p>⇒ 福祉の専門職である介護福祉士、精神保健福祉士の資格を有する者（履修中の者を含む）が、社会福祉士の養成課程において実習を行う場合、社会福祉士の資格を取得することを希望する者の負担の軽減を図るため、60時間を上限に実習を免除する。</p>																													
<table border="1"> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>← (60時間を上限に実習を免除)</td> <td>介護福祉士</td> <td>※社会福祉士の資格を有する者が、介護福祉士又は精神保健福祉士の取得を希望する場合は、既に実習時間の免除が行われている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>精神保健福祉士</td> <td></td> </tr> </table>	社会福祉士	← (60時間を上限に実習を免除)	介護福祉士	※社会福祉士の資格を有する者が、介護福祉士又は精神保健福祉士の取得を希望する場合は、既に実習時間の免除が行われている。			精神保健福祉士																						
社会福祉士	← (60時間を上限に実習を免除)	介護福祉士	※社会福祉士の資格を有する者が、介護福祉士又は精神保健福祉士の取得を希望する場合は、既に実習時間の免除が行われている。																										
		精神保健福祉士																											
<p>3 実習施設の範囲の見直し</p>																													
<p>○ 実習施設の範囲の拡充</p> <p>⇒ 実習を行う施設について、社会福祉士国家試験の受験資格に係る実務経験として認められる施設等と同等にするとともに、法人が独自に実施する事業等の場においても実習を行うことで地域における多様な福祉ニーズを学ぶよう、実習施設の範囲を拡充する。</p> <p>【新たに実習施設の範囲に含まれる施設等の例】 都道府県社会福祉協議会、教育機関(スクールソーシャルワーカー)、地域生活定着支援センター 等</p>																													

の相談支援の専門実習は、もっぱらケアマネや障害の相談支援員が担当しますが、現代の複層的な相談では、より領域の広がりがあり、具体的には生活困窮者支援やひきこもり等、現代の課題に直面しており、これを重層的な支援や、地域ケア会議、ケースマネジメント機能で解決しなければなりません。そこで担当部門を予め広げ、当会のSWに関する全ての分野とし、法人包括的な体制としました。

さらに一つは、「ソーシャルワーク実習受入れマニュアル」(表5)を作成し、「社会福祉士実習受入委員会」(表6)を法人の実習運営体制としました。法人の体制構築という関係上、各拠点の責任者も資格の有無に関わりなく、受入委員会の責任者レベルとして上げておきます。当然当会SW実践の熟練の責任者です。

実習には、アウトリーチ、ネットワーク、ネゴシエーション、ファシリテーション、ソーシャル・アクションなどの実践指導もあり、これらは個別ケースの場の実習ではとらえきれない可能性のあるカリキュラムです。組織横断での活動には責任者レベルの理解も必要と配置しました。

また、全体に若手社会福祉士も参加させています。実習は資格取得後5年経過と、実習指導者研修終了者が実際には主担当ですが、早くからソーシャルワーカーの実習に参画し、自らの実践を、人に説明し指導できること。これもソーシャルワーク実践の一つの大事な側面であることを体験していただき、自らのソーシャルワークを磨いていってほしいとの願いがあります。

理事長 ◆ 齊藤 淳

表3.....ソーシャルワーク実習のねらい

1	ソーシャルワークの実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養う
2	支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上の課題(ニーズ)について把握する
3	生活上の課題(ニーズ)に対応するため、支援を必要とする人の内的資源やフォーマル・インフォーマルな社会資源を活用した支援計画の作成、実施及びその評価を行う
4	施設・機関等が地域社会の中で果たす役割を実践的に理解する
5	総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する

「大学等において開講する社会福祉に関する科目の確認に係る指針について」(令和2年3月6日)

表4.....  
楽晴会におけるソーシャルワーク実践の  
実習生受入れに関する要綱

(実習生等)  
第2条

- 高齢者の相談機関である「居宅支援事業所」を兼ねた「三沢介護支援センター」「はるが丘介護支援センター」
- 障害者の療育・相談支援センターボイス
- 法人本部並びに楽晴会 SWセンター
- 三沢老人ホーム及びそのサテライト施設、晴ヶ丘老人ホーム
- 児童デイサービス、無料低額宿泊所

2024年6月14日 社会福祉法人楽晴会

表5.....  
2024年社会福祉士養成のための  
ソーシャルワーク実習(新カリ) 受入れマニュアル(仮)

2. 受入体制  
社会福祉法人楽晴会「ソーシャルワーカー実習運営体制」の概要

- 組織名：社会福祉法人楽晴会
- 実習指導管理者 齊藤淳理事長(社会福祉士 1210号)
- 事業種別による実習予定拠点  
高齢(特養・養護・在宅ケア・居宅支援事業・東京事業)  
障害(就労継続A、B・日中生生活介護・共同生活援助・重度訪問介護・療育相談及び児童デイ)  
SWセンター(無料低額宿泊所、見守り支援事業・女性活躍・生活困窮者支援・成年後見他)

2024年6月14日 社会福祉法人楽晴会

表6.....社会福祉士実習受入委員会

実習受入委員会委員(責任者レベル)	三沢老人ホーム(特養施設長)	川村夏子(令和6年第0288665号)	実習受入委員会委員	三沢老人ホーム特養	Mさん(令和5年第275557号)
	三沢介護支援センター(管理者)	同上		三沢介護支援センター	Sさん(令和6年第292876号)
	三沢老人ホーム(施設長補佐)	中平智弘(平成30年第220454号) 実習統括責任者		松原コロボケアセンター	Nさん(令和2年第248554号)
	晴ヶ丘老人ホーム(養護施設長)	吉田幸恵		療育・障害者相談センターボイス	十文字さん(精神平成23年第50350号)
	はるが丘介護支援センター(管理者)	鹿内佳子		同	坂井さん(令和4年第264752号)
	障害者就労トライアルセンターボイス(施設長)	吉田博之		同	小泉さん(精神令和5年第102389号)
	同(施設長補佐)	小笠原麻衣子(平成19年第87422号) 実習指導者		同・日中生生活介護	月鑑さん(令和6年3月第290368号)
	SWセンター・無料低額(拠点長)	中川れい子(平成9年第9379号)		同・日中生生活介護	Yさん(平成28年第198672号)
	児童デイ(拠点長)	外山ルミ(平成29年第208136号)		緑ヶ丘児童デイサービス(管理者)	山本由佳(平成16年第55383号) (精神令和6年第104283号)
	世田谷希望丘ホーム(理事)	渡辺博明		大町児童デイサービス(管理者)	佐藤恵(令和6年3月第298528号)
		世田谷希望丘ホーム(特養)	Iさん(平成17年第62499号)		
		世田谷希望丘コロボケアセンター(管理者)	森田成弘(令和3年第254757号)		

(管理者は実名、相談担当者は姓のみ)

# 三沢老人ホーム改築工事、着々と進む!

## 上棟式を執り行いました

法人本部事業振興プロジェクト  
主幹●種市博幸

令和6年1月13日に安全祈願祭を終え、同月16日より工事を進めてまいりました。

着工当初は季節的に雪が降る中での開始となったため工事の遅れも心配されましたが、設計者および工事の施工者等、皆様のご協力にて同年6月13日、上棟式が行われました。

当日は雲龍大権現神社様により建物の守護神と工匠の神に、棟上げまでの工事が無事に進んだことを感謝し、工事

が完成するまでのご加護と新施設の永年堅固を祈願いたしました。なお、施設付近の地域の皆様方には工事関係車両等にて大変ご不便をおかけしておりますが引き続きどうぞご理解とご協力をお願いいたします。今後のスケジュールは11月下旬に各検査を行い、12月2日付で引渡しとなります。内覧会を12月6日・7日の両日で開催予定をしております。



## 利用料等説明会を2回開催

7月23日・27日◆国際交流センター

三沢老人ホーム拠点長補佐●中平智弘

7月23日(火) 17時半～、7月27日(土) 10時～、両日において施設建て替えにおけるお客様対象の説明会を実施させていただきました。両日合わせて46名もの参加があり、ご家族からの関心の高さがうかがえました。

説明会は理事長の挨拶から始まり、三沢老人ホームの歴史などを振り返りながら新施設に移行する経緯などの話があり、川村園長からは、新施設の建設中の写真やユニット

型になることによるメリットなどの説明がありました。

その後、料金内容の説明、各種制度説明と進み、最後に質疑応答の順で約1時間の内容となりました。新施設移行での大きな変更点である居室の個室化、そしてそれに伴う料金の変更の部分に対する質問が多く聞かれていました。参加できなかったお客様ご家族には既存施設にて改めて後日、個別の説明をさせていただきました。



ユニット型介護福祉施設サービス単位数  
[1日当たり自己負担分]  
(原則、利用は要介護3、4、5の方が対象です)

従来型 (現行)	要介護1	589単位	589円
	要介護2	659単位	659円
	要介護3	732単位	732円
	要介護4	802単位	802円
	要介護5	871単位	871円



ユニット型	要介護1	670単位	670円
	要介護2	740単位	740円
	要介護3	815単位	815円
	要介護4	886単位	886円
	要介護5	955単位	955円

各拠点  
行事紹介

法人本部災害対策室	能登半島地震震災派遣 (施設応援者・種市博幸)	6/2～6 7/7～12	ゆうかりの郷奥原（七尾市） 石川県精育園（加賀市）
	能登半島地震震災派遣者報告会	7/29	青森DCAT派遣者報告（月舘健司） 青森県災害派遣者報告（種市博幸）
晴ヶ丘拠点		7/26	納涼祭（拠点合同）
晴ヶ丘老人ホーム		4/11、16、17 5/15、29	お花見散策（十和田市官庁街） スイーツバイキング
		6/5、19 6/29	道の駅みさわ 八戸マリエント 三沢市公会堂フラダンス観賞
		4/16～19 5/24 6/25～27	お花見散策 はるデイカフェ 小川原湖散策
はるが丘デイサービスセンター		4/22 5/16、7/18 7/12	お花見散策 運営推進会議 初釜
グループホームはるが丘		5/23 6/13 6/26 6/27 7/23、27	オープンカフェ 上棟式 スイーツバイキング 防災訓練 新施設説明会
三沢老人ホーム		4/22～24 5/15 5/20～22、6/12～14、7/17～19	春の散策、十和田観桜ドライブ～かだ～れ散策 春の花植え マエダ買物散策
三沢デイサービスセンター		5/24 7/4 7/10	料理クラブ（なんちゃってたご焼き） 料理クラブ（味噌ざりたんぼ作り） 斗南藩散策（初夏の味覚アイスを食べに行こう）
松園拠点		5/10 7/12	グリーンデイ（花植え） サマーガーデン
		4/2、3 4/24 6/7 6/14	かっぱ寿司散策 花見散策（七戸方面） 新緑散策（十和田方面） 白い森散策
松園ケアラウンジ・スカイ		4/17～20 6/11～13	花見散策 スイーツバイキング
松園デイサービス・スカイ		4/11、25 5/14 6/9	花見散策 つつじ散策 お楽しみ会
松園グループホーム・スカイ		5/20 7/12	グリーンデイ（花植え） 岡三沢こども園マーチング
岡三沢めぐもりの家／岡三沢コラボケアセンター		4/18、23 4/25 5/11 6/11 6/13、18 6/24 7/8	花見散策 花植え 第五中学校運動会観覧 スイーツ散策（白い森） 買い物支援（アサヒ） 消防立ち合い総合避難訓練 七夕行事
栄町めぐもりの家		4/15、16 4/24、22 5/11 6/26 7/4、5 7/26	花見散策 ランチ散策（まるまつ） 第五中学校運動会観覧 買い物支援（アサヒ） ランチ散策（café42） 消防立ち合い総合避難訓練
栄町コラボケアセンター		4/18 5/17 6/14 6/28	七夕行事 お酒を嗜む会 ミニ運動会 総合消防訓練
松原めぐもりの家		5/12 6/10 6/28 7/8 7/30	ケーキバイキング 父の日外食散策 総合消防訓練 七夕行事 バーベキュー
松原コラボケアセンター		4月 4/25 5/21 6/14 7/5 7/23	お花見ドライブ月間 お花見散策（小川原湖） 自然観察（NAMIKI、NARABI） 買物散策（あぐりの里） 調理練習会（カップそうめんづくり） 買物散策（ブレッドスタジオほか）
シニアライブ大津		7/19	地域奉仕活動とBBQ交流会
地域活動支援センターボイス		4/26 7/3	お花見ドライブ（小笠原湖） ドライブ（ホロンバイル）
障害者就労トライアルセンターボイス		4/20 5/25 6/8 6/15 7/13 7/20	カレーライスづくり 焼きそばづくり 防災食を食べてみよう 保護者茶話会 冷やし中華づくり プチ遠足（六ヶ所PRセンター）
バラアートみさわ			
堀口児童デイサービスセンター			

## 福祉教育

講師派遣	進路講話「職業人に学ぶ」 堀口中学校3年生	7/17	三沢デイサービスセンター所長・根市正行 岡三沢コラボケアセンター生活相談員・古澤江梨
	十和田看護学院看護学科2年生	5月～6月	三沢訪問看護ステーション所長・中村由佳子 「呼吸器疾患のある患者の看護 / 脳神経系疾患のある患者の看護 / 運動神経系疾患のある患者の看護 / 血液疾患のある患者の看護 / 女性生殖器、男性生殖器の疾患のある患者の看護 / 感覚器疾患のある患者の看護」
実習生等受入れ	三沢訪問看護ステーション	6/12～20	青森県立保健大学看護学科4年生(2名)在宅看護実習
		6/24～27	同上
		7/1～4	同上
		7/8～11	同上
	障害者就労トライアルセンターボイス	5/28、29	七戸養護学校高等部3年生
		6/3	八戸高等支援学校3年生
		6/17	八戸第一養護学校中等部3年生(1名)
	6/18	八戸第一養護学校中等部2年生(1名)	
	7/29～9/11	八戸学院大学健康医療学部人間健康学科4年生	

## 御寄贈品

2024年4月～2024年7月

御寄贈御礼	六戸町商工会女性部様	タオル 80枚
	大津わらび会様	雑巾 100枚
	今青春様	タオル
	大鹿武彦様	ニューステップT4r(リハビリ用品)・ 垂直型手すりパディ
子ども宅食への 御寄贈品	株式会社KAWACHO RICE様	米
	有限会社川守田パン様	パン
	生活協同組合コープあおもり様	食料品
	ファミリーマート株式会社様	食料品・飲料・お菓子
	フローレンス/子ども宅食応援団様	レトルト食品
	株式会社モリレイ様	食料品
	第一生命保険株式会社様	雑貨・食品
	明治安田生命保険相互会社様	雑貨・食品
	a Bakery Olive様	冷凍パン・DVD・衣類・遊具
	JAおいらせ女性部様	食料品
	スターゼンミートプロセッサー株式会社様	冷凍肉・レバー
	スカイブラザ株式会社様	食料品
	みちのくココ・コーラボトリング株式会社様	飲料
	階上キュービー株式会社様	レトルト食品
	東管工業株式会社様	米・長芋
	株式会社小坂工務店様	雑貨・食品・衣類
	ダイドードリンコ株式会社様	飲料
	十字屋様	学生服
	青森県社会福祉協議会様	飲料・食料品
	三沢市社会福祉協議会様	お菓子
	三沢保健相談センター様	オムツ・生理用品
	農林水産省様	政府備蓄米
	石橋達雄様	食料品
	岩野智美様	制服・学用品
	上平こすえ様	米
	葛西様	お菓子
	神山千春様	お菓子・日用品
	川田春実様	野菜
	工藤幸子様	三輪車・玩具・衣類
	佐伯茂様	洗剤・ゴミ袋
	杉原美代子様	衣類
	関口幸代様	衣類
	橘清子様	衣類・雑貨・学用品・制服
	千葉裕子様	学用品
	對馬孝章様	ベビー服
	成田様	ランドセル
	西津様	飲料・食料品
	沼山純子様	長靴・衣類・玩具
	平出晃一様	食料品
	松森花音様	オムツ
	山本友子様	衣類
	匿名様	衣類

ボランティア  
受入状況

延べ人数●2024年4月～2024年7月

拠点名	事業所名	個人	団体	計
晴ヶ丘	晴ヶ丘老人ホーム	13	14	27
	はるが丘デイサービスセンター	7	0	7
	グループホームはるが丘	4	0	4
三沢	三沢老人ホーム	0	50	50
	三沢デイサービスセンター	8	0	8
松園	松園ケアラウンジ・スカイ	7	4	11
	松園デイサービス・スカイ	7	0	7
	松園グループホーム・スカイ	2	0	2
岡三沢	岡三沢めぐもりの家	14	0	14
	岡三沢コラボケアセンター	14	0	14
栄町	栄町めぐもりの家	2	0	2
	栄町コラボケアセンター	2	0	2
松原	松原めぐもりの家	14	0	14
	松原コラボケアセンター			
大津	シニアライフ大津	10	13	23
桜町	ソーシャルワークセンター	12	87	99
堀口児童	堀口児童デイサービスセンター	17	0	17
計		133	168	301

お心いただきました！  
ありがとうございました！